

代表質問

中原市長の施政方針に 会派代表者が問う

市長の施政方針

【四つの重点テーマ】

- ▼命を守る
- ▼子ども笑顔を未来につなぐ
- ▼誰もが輝くまちをみんなで創る
- ▼価値を高め、次世代に継承する

2月28日、中原市長の施政方針に対し、各会派の代表者6名が代表質問を行いました。主な質問と答弁の内容は次のとおりです。



平和市民クラブ

降旗 聡



問 吉川駅北口周辺地域の具体的な治水対策の内容について。

答 昨年6月の大雨では、1時間あたり最大53mmだった。今回は55mmでシミュレーションした。計算では、47cmある浸水が8cmに軽減される。

問 他地区（南中学校周辺地区・須

加榎戸地区等）での浸水対策について。

答 須加榎戸地区は、東埼玉道路の関連で、まちの形が変わってくるので、貯水することも考えていかなくてはいけない。

また、南中学校周辺地区は、県の下水道関係の方たちと意見交換をした。排水区を越えて、調整池を整備し貯水するには、県の許可が必要となる。県と共に整備できないかお願いをしている。

自由民主党

吉川市議員団

松崎 誠



吉川市「第6次総合振興計画」の4つの重点テーマに沿って、17項目にわたっての質問を行いました。以下、主な内容について掲載します。

問 三輪野江南部工業団地開発について、昨年の9月議会では「埼玉県企業局と市との共同事業方式による

開発を優先して検討している」との答弁がありました。今後、事業主体を含めた三輪野江の工業団地開発における市の考え方について伺います。

答 多くの方が民間開発による事業化を望んでいる状況を確認しましたので、今後は地権者の皆さまのそうしたご意向を踏まえ、また地域の方々へも現状をお伝えしながら、関係機関との調整を行ってまいります。